



# Another Origin

Frost side

Prepared by Circle : Lv.41  
Last Origin Unofficial Fanbook







え…えつと…  
ティタニア…

死ねツ  
余に話しかけるな

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ



さすが氷の女王  
って感じ笑

うっ…

まうた  
フラれちゃったね  
お兄ちゃん笑

うーん…  
どうにかして  
仲良くなれない  
ものかなあ…

相変わらず  
冷たいな…

SHOWER ROOM  
ツ  
ツ





お風呂... 洗って

お風呂... 洗って

お風呂... 洗って





やはり…私には  
むずかしいな…  
素直になって  
他者と関わるなど…

笑顔のひとつも  
気軽に作れやしない

なにを考えてるんだ  
私は…ッ!!

私があつ男と  
交わるなど…

この女王がするワケ  
ないでしょ!!

もし、交わるコトが  
できたのなら…

司令官と…もっと  
仲良くなれるの…  
だろうか…?

うん













じい...

おい  
どうしたんだ？  
その手は

あはは...  
みんなへの差し入れを  
作ってたんだけど  
ミスって火傷しちゃって



手をよこせ

いいから  
言う通りにしろ

え？



どうだ？

うんツ  
さっきより痛みが  
緩和されたよ  
ありが...

.....  
...そうか



あの時のことを  
鮮明に夢で見るなんて

……？  
……夢か

……？なんか  
腰のあたりが重い……？

誰かが乗ってる？

……ごめん。  
そこにいるのは  
誰かな？

ひどいんじゃない？  
灯がないと誰だか  
わからないなんて

いんぱんわ♡

司令官♡

！  
テイタニアツ！



なツ…なんでキミがここに…ツツ!?

なにつて…

この時間に必要な  
用事なんて  
決まってるでしょ?

夜道<sup>たへ</sup>に来たの♡

司令官のユ・ト♡

ぱん

たべ…つて  
どうして急に…ツ

うるさい

この女王が相手を  
すると言ってるんだ♡

は…♡

は…♡

素直に応じろ♡

そして、  
余を満たせ♡

は…♡









ハリキリすぎだ  
司令官♡

お前が愛撫して  
胸に付着した涎が

溶けた氷の雫のように

垂れてきているでは  
ないか♡

はぁ♡

んん♡

ポタ  
ポタ

夢みたいだ...

はぁ♡

んん♡

んん♡

んん♡

ポタ  
ポタ

一体...テイタニアに  
なにが...

おし責懲♡

わっ!!  
わっ!!

んん♡

これは...

な・ん・だ?♡

びく  
びく







ああ

仕方ない

余がこの口で

ぽん

この先、身体が  
保たないぞ？♡

ふふ…おっぱい如きで  
こうなつては

アツ…こ、これは…  
そ…その…ツ!!



どうだ？司令官？  
少しは落ち着けるか？

おっぱい

冷やしてやろ♡

んん!!

れろ

れろ

れろ

落ち着くつて…  
こんなことされて…ツ





ぐわぐわ

信じられない...ッ

あ、あのティタニアが...

こんな下品な顔をしながら

ぐわぐわ

フオフ

フオフ

ぐんぐん

俺のチョコを

頬張ってるなんて...ッ

しかも俺の気持ちいいところ

知ってるかのように的確に

あ、あ、あ

しつかり責めてくる...ッ

...ッ!!

ごめんッ!! ティタニア...ッ!!

射撃...!!

こんなの我慢じろって方が...

ぐわぐわ

射撃!!

ぐわぐわ





アッアッアッアッアッアッ

アッアッアッアッアッアッ

アッアッアッアッアッアッ

アッアッアッアッアッアッ



アッアッアッアッアッアッ

おいしい♡  
美味♡

これが…貴様の…  
司令官の子種…

アッアッアッアッアッアッ

アッアッアッアッアッアッ

濃くて…

熱くて…  
それに…

アッアッアッアッアッアッ



ビュッ♡

余を孕ませるまで  
終わらないつもりなの  
ようだな？♡

だが…射精したのに  
お前のソレは

は…

な…!?…そ…  
そんなつもりは…ッ  
わッ!?

♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡  
そうでなくては…

は…

余が満たされん♡

うあ…

あああ…

なにを言っている？  
嫌いなんじゃないのか!?

ぬちゅっ

ティタニアッ  
どうしたんだ…ッ!?  
キミは俺のコトが…





好いてるから

交わりタイのダロウ？

!!!

す♡

お♡

だ♡

ん♡

あ♡あ♡

!!!

アッアッ

アッ

アッ

アッ

しおーか

ん♡あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡

ん♡



ぼんぼん♡  
ぼんぼん♡

司令官のおち●ち♡

おん♡

んぼ♡

チ♡  
チ♡

ぼんぼん♡  
ぼんぼん♡

きたきた♡  
挿入ってきた♡

ぼんぼん♡

せっかく余が  
口で冷やして  
あげたのに♡  
アツツアツの  
カッチカチ♡

おん♡



違う!!  
これはティタニア  
じゃない!!

ぼんぼん♡  
ぼんぼん♡

さっきのあの  
感じ……  
きっと何か  
原因がある……ッ

ねえ?  
司令官

おん♡











ふー…♡

射精したな？  
余の膈内に♡

ふー…♡

許可もなく♡

ん…♡

カク…カク

ご…ごめんな…  
な…

その証拠に…ほら♡  
お前の子種汁が

ぶるる

はぁ…♡  
はぁ…♡

ん…♡

ふう♡

余から滲のように  
溢れ出てくるぞ♡

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

ふふ…頑張った  
お前に私から…

ご褒美を  
あげようか♡





はぁん

どうだ？  
美味いか？♡

はぁん

はぁん

はぁん

火照った身体のために  
能力で少し冷やして  
やったぞ？



はぁん



私のジュース

ありがたく  
飲み干すのだから♡

はぁん

はぁん



はぁん

さて、休憩したら  
再び交わるぞ？♡  
司令官♡

はぁん

はぁん

はぁん



それからー

はー

はー

はー

どうした？  
まだ残っているだろうか？

そのタマの中に♡

はー

はー

はー

はー

ティタニア…それ…  
ヤバイ…い…ツ!!

なんだ？  
こんな無様な体勢でも

心地よくて  
たまらないか？♡

はー

はー

はー

はー





あーっ

余はそんな変態の下で働くなど

あーっ  
あーっ

御免だぞ？♡

あーっ

ほーら♡

あーっ

あーっ

ぐりぐりぐりぐり♡  
ぐりぐりぐりぐり♡

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

や...やめてくれ...ッ  
恥ずかしいよ...  
テイタニア...ッ

恥ずかしい...?







「恥じらい」を持つ者がチ●ポをこんなポツキさせるわけないでしょ♡

ツくなら  
嘘じゃなくて

腰にチ●ポを  
しっかり突きなさい♡

あーん♡



だ…ダメだ…ッ  
テイタニア…!!

そろそろ…ッ!!

もう射精か?♡  
挿入してから  
5分と経ってないぞ?♡



仕方ないチ●ポめ♡  
この射精が終わったら  
余が教育してやる♡

ほら、射精せ射精せ♡  
さっさと射精せ♡

あーん♡

あーん♡

バクバク







司令官は射精が  
早すぎる

この女王が訓練して  
あげるわ...♡

な...なんで  
ゴム手袋...

さっきの  
性交で

あなたのチ●ポは  
カスマみれ♡

この女王がそんな  
汚物を直接触る  
わけないでしょ?♡

は...

は...







ふふ…♡  
どうだ…?  
潤滑油を  
使えば…

ゴム手袋で  
シゴかれるのも  
悪くないでしょ?♡

亀頭をカリカリ…  
とかね♡

うっ…ッ  
あああ…ッ!!



まさか手だけで  
射精したりなんて  
しないわよね?♡

う…うう…  
そろそろ…

舐めてほしい?  
じゃあ…

もし射精なんて  
したら…  
相当な雑魚チ●ポよ?♡

ち○と舌で…

受け止めて  
あげるわ♡

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ







ティタニア…  
こ、今度はなにを……

タリニョ

再診だ♡  
お前はしっかり  
チ●ポを勃たせる  
コトに

集中しろ♡

今度は胸で  
早漏改善治療  
するぞ♡

ティタニアの胸…  
ふわふわで…すきゅん…

はっはっはっはっ

はっはっはっはっ

はっはっ

はっはっ



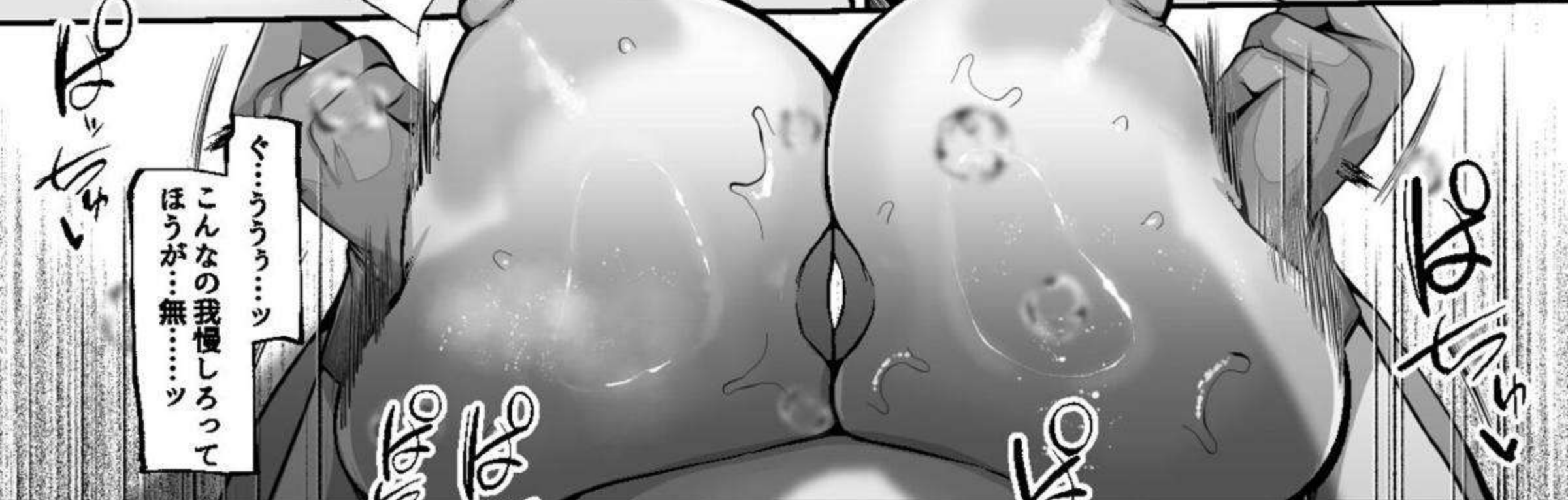




加減はしないが  
しつかり耐えろ?♡

…でない、  
またやり直したぞ?♡

あ…



ぐ…う…う…ッ  
こんなの我慢しろって  
ほうが…無…ッ

アキ

アキ



また射精で  
しまうのか?

我らの司令官なら  
もっと根性を  
見せてほしいな♡

うお…  
そんなコト…  
言っても…ッ

アキ

アキ

アキ

アキ













それ♡  
もつとしっかり  
腰を動かさせ♡

そんなでは余の  
子宮に響かんぞ♡

キムケム♡

だって...もう...  
腰が...  
動かない.....

あ♡

まだ15回しか  
射精してないぞ？  
余はまだ全然  
足りておらん♡



おっと、  
そうだった♡  
いいものがあるんだった



戦闘刺激剤EX...を  
改造したドリンク♡

これでお前ももつと  
女王との交尾を  
楽しめるぞ♡

え...？  
それって俺が  
飲んでも平気なやつ  
なの...？

いいから  
飲みなさいッ

例...？

カッ



どうだ？  
少しはやる気になっただ……

か……？

ナニコレ……!?

さっきまでと  
全然大きさが違う……ッ!?

え……?

お待……

ドリンクの効能が  
強すぎ……た……？

テイタニア……

ガマンデキナイ……

ヤル……ヤル……

イレル……イレル……ッ

待て……ッ  
司令官……ッん

余の許可もなしに

効能の影響で  
思考も停止してる……ッ!?

くちゅっ

勝手に動くなど……

許さ……ッ

ズ……

フン……  
フン……





おっおっおっ♡

このち●ぽが  
こじ開けてくる...う♡

なんだこれ...え♡  
私の腫を無理矢理...

おっおっ♡

おっおっ





余の許可もなく...  
身体を食る...なああ♡

司令官...ん  
こんなコト...  
許さんぞ...ッ



なに?

つて...  
なにをするキサマッ!!

女王の肛門を  
下品に...  
広げるなどと...



万死に...ああ...  
たあ...♡





戦闘続行





許さん...♡  
許さんぞ...お♡

あとでキサマを...  
殺してや...



余にこんな体勢を  
させるな...♡

なにをする...♡  
や、やめろお...♡



ダメ…  
だめ…え…♡

司令官…ん♡

この体勢…  
続けられると…お

で…である…♡

おま  
たは  
あ  
あ♡  
あ♡  
あ♡

あ♡  
あ♡  
あ♡

あ♡  
あ♡

あ♡

あ♡  
あ♡

戦闘続行





こんなの…  
こんなの…♡

私があ…♡  
満足するまで…え♡

司令官の  
チ●ポで…え♡

遊ぶつもり  
なの…♡

んん♡

んん♡

カレ♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

乳首…ちくびら…♡  
ひっぱられるとち…♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

んん♡

頭…あたまシンシン…♡

じんじんしちやうからあ…あ♡

戦闘続行

んん♡

んん♡

んん♡



あゝ♡  
だめ…♡  
バズ♡

バズ♡  
バズ♡  
バズ♡

ダメだめだめ  
らめ…え♡  
しきゅー  
つぶれちやうち…♡

ブッ♡  
ブッ♡  
ブッ♡

戦闘続行

ドム♡  
ドム♡  
ドム♡  
ん♡

もういい…ッ♡  
余の…  
私の負け…え♡

負けでいいからあ…あ♡  
もう…もう…あ…♡

また♡  
また♡

ドム♡  
ドム♡  
ドム♡













クワッ  
クワッ

クワッ...

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ



クワッ...

クワッ...

クワッ...



調査結果出たよ  
お兄ちゃん！

彼女は新種の  
寄生型鉄蟲に  
やられていたみたい

新種だって？

そう。  
体内に侵入し

そこから神経を  
通して肉体を掌握

そのまま融解して

寄生主と融合して  
しまうタイプのね

テイタニアの性格が  
変わったのはそれが原因か

もう少しで完全に  
乗っ取られてたかも…  
だね

危機一髪って  
やつだよ

でも、デレデレな彼女も  
悪くなかったんじゃない？

お兄ちゃんの笑

それで…  
どうするの？  
お兄ちゃん

う…  
それは…まあ…  
うん…

お兄ちゃんの  
ヘンタライ♡

え？





今回の事例は  
鉄蟲の影響による  
一時的なエラーだから  
鉄蟲を除去する  
事は、エラーを取り除く  
ことになる

そうすると  
寄生されてた時の  
記憶は消えて  
お兄ちゃんが知ってる  
彼女に戻ってしまう



もう一度  
訊くね？

.....



お兄ちゃんは

前のティタニアと  
今のティタニア...

どっちの彼女と  
一緒にいたいのか？



...ッ  
...俺は.....





ティタニア

体の具合は  
どう？

ははっいつも  
通りで安心したよ

気安く  
話かけるな

死ねッ



おい

選択のことも...

この男が決断した



.....

私の記憶がない間の  
出来事は  
他のバイオロイドから  
全て聞いた

そして...





今日は、なんだか…  
冷えるから

え？  
今日はそんなに  
気温は…

余に口答えするな！  
冷えると言ったら  
冷えるんだ！



手を…  
よこせ



スッ

！

この女王に皆まで  
言わせるなッ  
早く言う通りに  
すればいい…ッ



ふふ…  
わかったよ

…なに笑ってんのよ

…死ね…

















こんにちわ。41と申します。

この度は本作をご購入いただきありがとうございます。

前作で宣言した通り、今回はティタニア様本を描きました。  
いちやラブ…?かは皆様の判断次第ですが、前2作よりも後味の良い話を作れたと思っております。

恐らく次回発刊するラストオリジン本が  
私の二次創作ラスオリくん漫画最後の作品になるかと思えます。

色々やってみたいネタは頭の中にありますけど、現状は何を描くかは  
未定!…ってことで。

ラスオリくんは二次創作が楽しいから色々な方が薄い本を出したらいいのにね…

それでは、また次回の本でお会いしましょう。  
多分次回はダークな作品に戻ります。

お楽しみに～

弊サークルのTwitterはコチラ



【奥付】

発行日：2024/8/11  
サークル名：Lv.41  
発行者：41

無断転載アップロード禁止  
18歳未満の閲覧・購入禁止

※本作品はラストオリジンの二次創作物です。  
ラストオリジンの本編とは一切関係はありません。